

**科学技術の振興及び成果の社会への還元
に向けた制度改革について
(中間報告)**

平成18年7月26日

基本政策推進専門調査会

制度改革の概要

科学技術の振興上障害となる制度的隘路や研究現場等で顕在化している制度運用上の諸問題が存在

第3期基本計画にも掲げられている、以下についてヒアリングを実施し、検討を深めるべき改革を提言

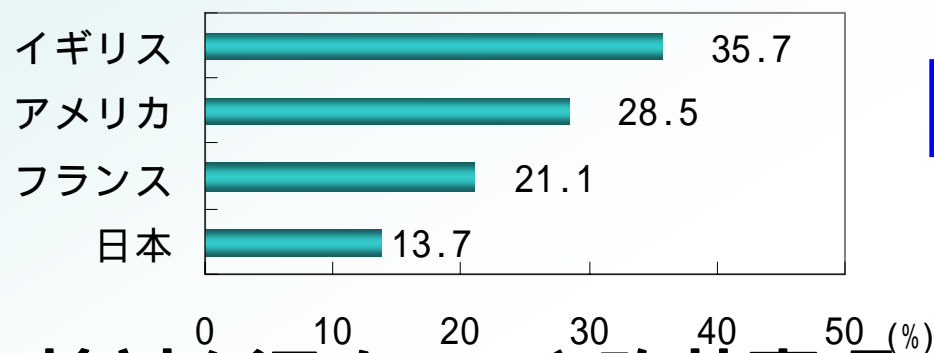
1. 優秀な**外国人研究者**を日本に惹きつける制度の実現
2. 研究者の**移動の際の経済的不利**の是正
3. 治験を含む**臨床研究**の総合的推進
4. **研究費**の公正で効率的な使用の実現
5. **女性研究者**の活躍を拡大する勤務環境整備
6. **研究支援**の強化

1. 優秀な外国人研究者を日本に惹きつける 制度の実現

(問題点)

- ・ **優秀な人材(研究者)の獲得競争**が全世界で活発化
- ・ 日本での外国人研究者の活躍はまだまだ少ない

博士号取得者における外国人の割合



**最も魅力的な入国管理
制度・査証制度を
目指すことが必要**

(検討を深めるべき改革事項)

研究者の**在留期間を5年**とする入国管理運用の確保

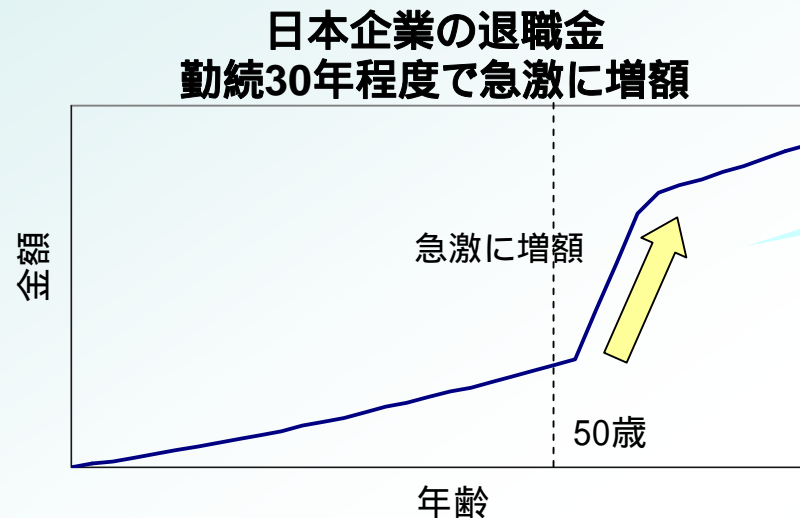
在留資格**手続きの簡素化**(対面から郵送、電子申請等へ)

学位取得者の**就職活動のための滞在期間延長** 等

2 . 研究者の移動の際の経済的不利の是正

(問題点)

- ・ **年金・退職金での不利益**のため、流動性が低い



30～40代で組織を移動すると
退職金受給額で不利益を被る

**移動する人材が不利益
を被ることがない年金、
退職金制度、実績を反映
した給与制度が必要**

(検討を深めるべき改革事項)

2国間社会保障協定の締結国を拡大し

国際的移動における年金面での不利性を是正

退職金前払い制度、業績連動型年俸制の広範な導入 等

3 . 治験を含む臨床研究の総合的推進

(問題点)

臨床研究を推進する**制度的枠組みの不備**

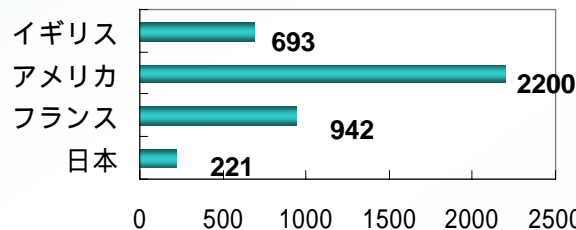
新薬の**承認審査体制の脆弱さ**

日本の治験は**スピードが遅い、費用が高いとの批判**

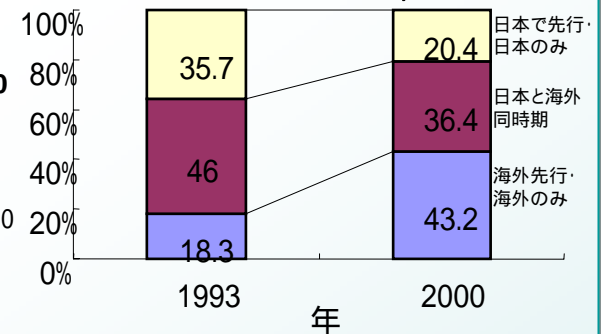
基礎科学・臨床研究での論文数の国別シェアの順位(2002)

順位	基礎科学	順位	臨床研究
1	アメリカ	1	アメリカ
2	イギリス	2	イギリス
3	ドイツ	3	カナダ
4	日本	14	日本

医薬品承認審査等の人員の国際比較(H17)



国内治験の空洞化(日本の製薬企業の治験実施場所)



(検討を深めるべき改革事項)

臨床研究の準拠すべき**実施基準及び保険診療と研究が併用可能な制度の確立**

(独)医薬品医療機器総合機構の**審査体制の充実**
国際共同治験の推進 等

4 . 研究費の公正で効率的な使用の実現

(問題点)

- ・ 繰越明許費制度の活用が極めて低調
- ・ 競争的研究費の交付時期が遅いとの指摘あり

研究資金の機関管理を一層徹底・強化した上で、より良い資金利用環境の形成が必要。

科学研究費補助金繰越実績

年度	全体比 (%)	繰越件数
	上段:金額 下段:件数	
H15	0.02	24
	0.05	
H16	0.01	10
	0.02	
H17	0.08	55
	0.11	

(文部科学省ヒアリング資料)

(検討を深めるべき改革事項)

繰越明許費制度の活用促進及び周知徹底

研究費の交付時期の早期化

公正で透明な資金管理体制の確立

4 . 研究費の公正で効率的な使用の実現

(問題点)

- ・ 繰越明許費制度の活用が極めて低調
- ・ 競争的研究費の交付時期が遅いとの指摘あり

研究資金の機関管理を一層徹底・強化した上で、より良い資金利用環境の形成が必要。

科学研究費補助金繰越実績

年度	全体比 (%)	繰越件数
H15	0.02	24
H16	0.01	10
H17	0.08	55

(文部科学省ヒアリング資料)

(検討を深めるべき改革事項)

繰越明許費制度の活用促進及び周知徹底

研究費の交付時期の早期化

公正で透明な資金管理体制の確立

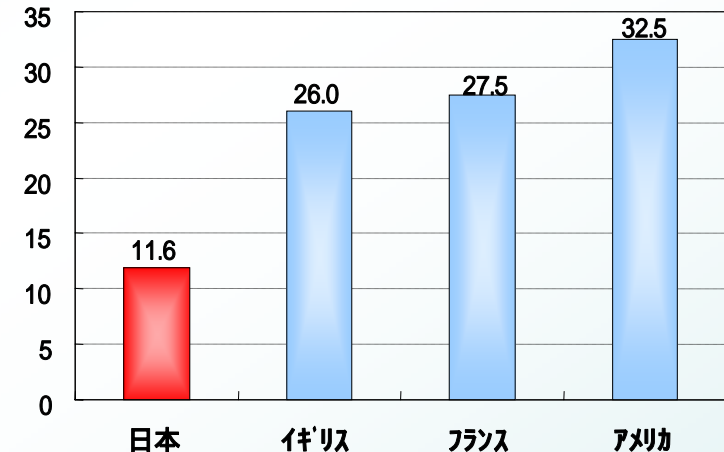
5 . 女性研究者の活躍を拡大する勤務環境整備

(問題点)

・国際的に、我が国の女性研究者の比率は極めて低い

業績評価や処遇判断の重要な時期に重なることの多い**出産・育児期の問題解決**が不可欠。

(%) 研究者に占める女性割合の国際比較



(2005年男女共同参画白書)

(検討を深めるべき改革事項)

有期雇用者の**育児休業取得条件等の緩和**

育児期間中における**多様な勤務形態の提供**

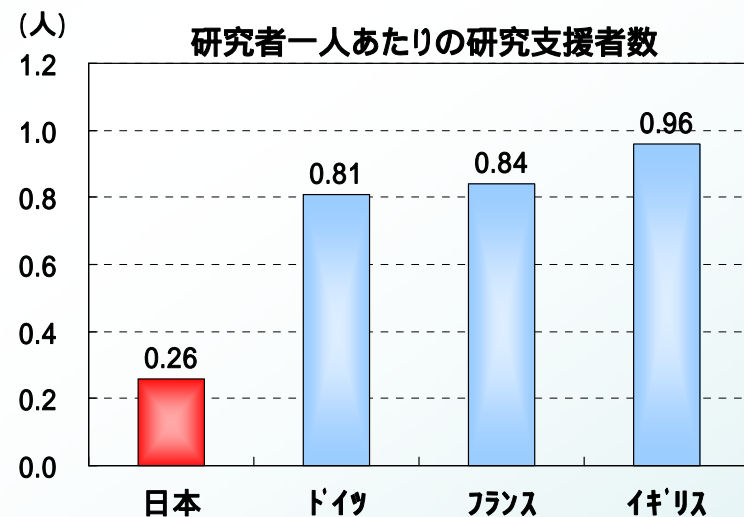
次世代育成支援対策推進法による**行動計画の公表** 等

6 . 研究支援の強化

(問題点)

- ・諸外国に比べ**研究者一人当たりの研究支援者が少ない**
- ・非常勤職員への代替により、支援者の**専門性や技能の劣化が懸念**

限られた人的・物的資源
の中で研究効率をより
向上させるため、**研究支
援の強化が必要。**



(2005科学技術白書)

(検討を深めるべき改革事項)

研究支援者を全学的に一括して**集中管理**
競争的研究資金の**間接経費の30%早期達成**
複数の大学の**ネットワーク化**、民間活力の活用

今後の取組について

今回取り上げた課題について検討を深めるとともに、残された課題 についても調査し、**改革案を検討**

- 例) ・競争的研究資金等をより有効に使用するための方策の検討
・能力主義を徹底させるための方策の検討(若手研究者、シニア研究者の活躍の促進)
・優れた外国人博士課程在籍者が安心して研究に取り組むための環境整備の検討

総合科学技術会議の意見具申として決定
(年内目途)

**改革の進捗を、総合科学技術会議として
フォローアップしていく**